

# LM住環境新聞

## 第3号

2004.1.10 発行

《製作者》

芝浦工業大学  
三浦研究室

4年 仲間剛

4年 水野真吾

## 二酸化窒素濃度を実測しました！

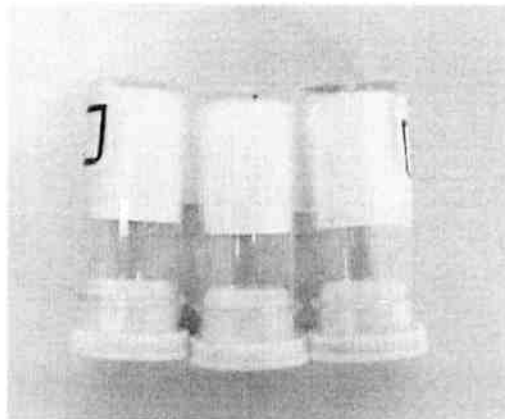


写真1 二酸化窒素の捕集用カプセル

12月17日、18日にかけて二酸化窒素濃度調査を行いました。二酸化窒素の捕集用カプセル(写真1)はフロア委員の皆様、フロア委員の皆様、ありがとうございます。カプセルの回収率は1番館179世帯中85世帯(48%)、2番館148世帯中98世帯(66%)、3番館131世帯中76世帯(58%)で、全体では458世帯中259世帯(57%)でした。昨年度と同調査におけるカプセル回収率は68%でしたので、昨年度に比べ回収率は若干低くなりました。現在は分析中で、1月中には実測結果が出る予定です。実測結果は必ず皆様に報告いたしますので、楽しみに待っていてください。左はカプセルに同封されていたアンケート自由記入欄の質問と回答の抜粋です。

## 二酸化窒素濃度調査 アンケート自由記入欄の 質問と回答(抜粋)

- 問. なぜ12月に行うのか?  
→二酸化窒素濃度は一般的に年間を通して12月に最も高い値となるためです。
- 問. 時間帯はなぜ夜8時からなのか? 昼間とか朝からでは駄目なのか?  
→住民の皆様の最もご在宅の割合が高い時間帯を考慮した結果、夜8時からとさせていただきます。
- 問. 調査結果をどのように報告するのか?  
→1月下旬に行う住環境に関するアンケート調査にてアンケート用紙とともに調査結果を同封します。また、2月に行う懇談会でもご報告します。
- 問. なぜ1回の計測でカプセルを3個使用するのか?  
→データの信頼性を高めるために3個のカプセルの値の平均値をデータとしています。



写真2 会合風景

これまでLM住環境研究会の会合は毎回LM自治会館にて行ってきました。11月29日に開かれた第12回LM住環境研究会会合では始めて場所を変え、芝浦工業大学三浦研究室にて行いました。三浦研究室のシンボルである「円卓」を囲んで、午前10時から12時まで2時間話し合いました。

## in 三浦研究室

## LM指扇住環境研究会会合

## 新年のご挨拶



LM大宮指扇自治会長  
LM大宮指扇住環境研究会代表  
渡辺 昭平

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えになられたことと存じます。昨年は大変お世話になりましたが、自治会員の皆様のご理解とご協力により、私達の住環境測定調査も予定通りに終わって、現在の結果の分析にあたっております。したがって、2月頃に予定されます報告会にて詳しくご説明させていただきますが、変わりゆく私達の周辺の環境変化に速やかに対応して、より良いマンションライフとなるよう努めて参りたいと存じますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

## 住環境に関する アンケート調査実施のお知らせ

### 日時：1月下旬

LM大宮指扇の住民の皆様が自分の住んでいる住環境についてどう思われているか、どの程度関心があるかなどをお聞きするアンケート調査を1月下旬行います。また、このアンケートで指摘された住環境に対する問題点などを取り上げ、積極的に解決していこうと考えております。詳しい日時が決まり次第、ご連絡いたします。

「新聞の発行にあたって」  
このLM住環境新聞は、住民の皆様に住環境に対する興味を持っていただきた、また住環境実測調査に参加していただきた、思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。また、住環境新聞に対してご意見・ご感想等がございましたら、左記のご連絡先までご連絡ください。

### 《ご連絡先》

芝浦工業大学  
システム工学部 環境システム学科 三浦研究室  
〒337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作 307  
TEL/FAX 048(687)5832 (月～金 11時～18時)  
Email: r00056@sic.shibaura-it.ac.jp  
教授: 三浦 昌生  
担当学生: 仲間 剛・水野 真吾  
http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/

# 騒音実測調査を行いました!



写真3 騒音実測の様子①

11月19日(水)と27日(木)に騒音実測調査を行いました。実測ポイントは1番館・2番館・3番館の1階・3階・5階・7階・9階・10階です。実測は、交通量が安定している時間帯の11時~14時と、交通量が多い6時~9時、16時~19時にそれぞれ行いました。左のグラフは11時~14時の交通量が安定している時間帯における騒音レベルの実測結果です(図1)。縦軸は階数を、横軸は騒音レベルを表しています。1番館では階が高くなるほど騒音レベルが高くなっています。これは防音壁の高さが関係しているためと思われます(図2)。2番館や3番館ではマンションの東側と西側で騒音レベルが大きく違ってきます。これはバスにある防音壁の水平方向の長さに関係しているためと思われます(写真2)。このように実測結果には防音壁の設置の有無による差が大きく現れていることがわかれると思います。(詳細をお知りになりたい方はおても面の連絡先にご連絡下さい。資料をお送りします)。

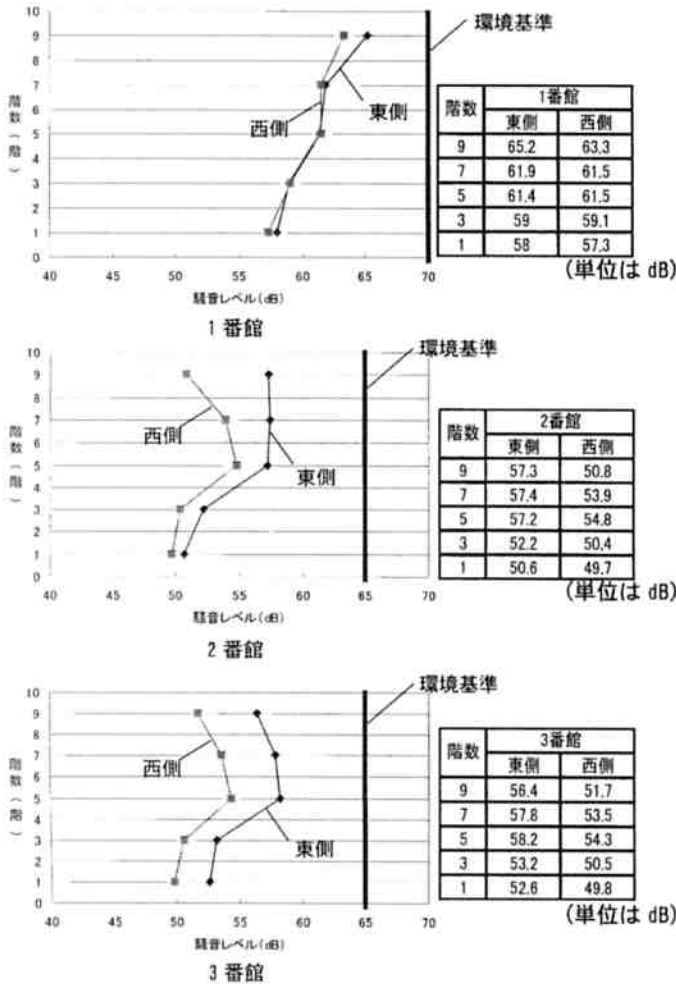


図1 各階における等価騒音レベル(10:55~12:40)



写真4 マンションの東側の防音壁

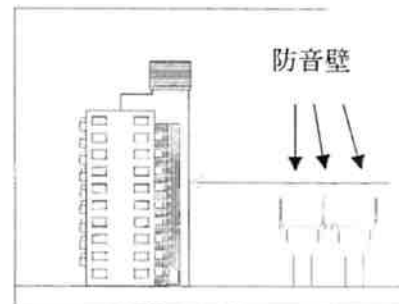


図2 防音壁の高さと1番館

東側は防音壁が遊水地公園のところで切れています

マンションの7階から上は防音壁がありません

## 〈コラム〉 騒音の基準って何だろう?

環境省は、環境基準として騒音の基準を定めています。環境基準とは、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、大気、水、土壌、騒音をどの程度保つことを目標に施策を実施していくのかという目標を定めたものです。LM大宮指扇における騒音の基準は以下の通りです。バスからの距離が15mにある1番館には特例が生じ、2番館と3番館と比べて環境基準がやや緩くなっています。上記の実測結果と比較して見ると、よりわかりやすいと思います。全ての番館において環境基準を超える値は計測されませんでした。

	昼間 (6:00~22:00)	夜間 (22:00~6:00)
1番館	70dB以下	65dB以下
2番館	65dB以下	60dB以下
3番館		

《LM大宮指扇に適用される騒音基準<sup>1)</sup>》

1) 参考：環境省「騒音に係る環境基準について」

棒の先端の黒いスポンジの玉が音を計測するセンサーの覆いです。マンションの外壁からの音の反射の影響を考え、外壁から十分な距離を保つように、延長棒の先にセンサーを取り付けました。



写真5 騒音実測の風景②